



会長
内藤 忠 顕

公益財団法人 日本殉職船員顕彰会

潮 騒

号 55 号
令和 6 年
1 月 1 日

公益財団法人 日本殉職船員顕彰会
〒102-0083 東京都千代田区麹町四丁目五
海軍センタービル
電話 〇三・三三三三・〇六六二
FAX 〇三・三三三三・〇六八二

新年あけましておめでとうございます

皆さま方におかれましては、おすこやかに新春をお迎えのことと、お慶び申し上げます。

さて、ここ数年に亘る新型コロナウイルス感染症の影響によって、私たちの日常生活や社会経済活動は大きな影響を受けましたが、当会の活動も例外ではありませんでした。

昨年5月には、感染症法上の位置づけが変更され、法律に基づく行動制限などが出されなくなることから、徐々にコロナ以前の状態に戻ってきたように思われます。

このようなか、第50回目の戦没・殉職船員追悼式は3年間に亘り延期を余儀なくされて参りましたが、昨年5月24日、神奈川県立観音崎公園「戦没船員の碑」において、快晴の空のもと天皇皇后両陛下のご臨席を仰ぎ、滞りなく開催することができました。

これもひとえに皆様方のご支援、ご協力によるものであり心より感謝申し上げます。

一方、8月の終戦記念日には戦没・殉職船員を慰霊・追悼するため

の献花式を予定しておりましたが、台風7号の接近が予想されたため、残念ながら中止と致しました。

また、第49回「戦時徴用船遭難の記録画展」を8月29日から9月10日まで「りゅーとびあ（新潟市民芸術文化会館）」において開催しました。同期間中の新潟地方は連日の猛暑に見舞われたものの、約450名の方々が来場されました。

年を追うごとに戦争を体験あるいは記憶している方が少なくなっていくのは致し方ないことですが、これからの世代に戦争の悲惨さ、平和の尊さを伝えていくためにも、この活動を続けて行きたいと考えています。

第50回戦没・殉職船員追悼式において、天皇陛下のおことばにもありましたように、戦後78年を数え、先の大戦の記憶が薄れようとしている今日、我が国の平和と繁栄が、戦没・殉職船員を始めとする多くの人々の尊い犠牲の上に、築き上げられたものであることを、決して忘れてはなりません。

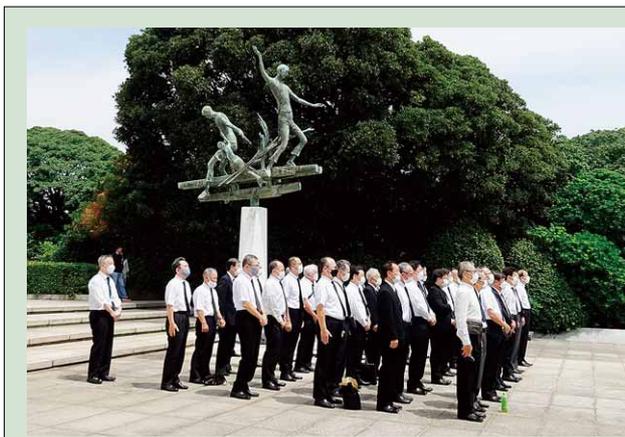
当会は、先の大戦において志半ばで犠牲となられた戦没船員と、海難や労働災害にあわれ殉職された船員の慰霊、顕彰と、ご遺族の援護に一層の努力を続けてまいります。

皆さま方におかれましては、本年も旧年に変わらぬご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

終戦記念日献花式

令和5年の終戦記念日献花式は、8月15日（火）、神奈川県立観音崎公園「戦没船員の碑」（横須賀市）で挙行する予定で準備を進めていたが、非常に強い台風7号は、10日朝の予報では、15日頃に静岡県、神奈川県に上陸する恐れがあると発表された。台風の接近にともない、安全の確保を考慮し、急遽、終戦記念日献花式を中止することとした。

写真は、令和4年の終戦記念日献花式。





りゅーとぴあ(新潟市民芸術文化会館)

戦時徴用船遭難の記録画展

知られざる民間船舶の悲劇 新潟で開催

第49回「戦時徴用船遭難の記録画展」を、8月29日から9月10日まで、新潟市の「りゅーとぴあ」(新潟市民芸術文化会館)で開催した。連日の厳しい猛暑にもかかわらず、450人の方々が来場し、壮絶悲惨な戦没船と船員の記録画を熱心に見入っていた。

戦時徴用船遭難の記録画展は、これまでと同様に貴重な記録画を通して、ご遺族をはじめ多くの皆様に戦時徴用船乗組員の凄絶な実相をお伝えし、戦争の悲惨さを実感していただくとともに、平和の尊さを再認識

してもらうことを目的に、日本殉職船員顕彰会が全国を巡回して開催している。

先の大戦では、兵隊や武器・弾薬などの軍需物資、資源などの輸入物資を運ぶための大量輸送船隊と海上輸送路の確保が絶対条件で、「国家総動員法」に基づく、「戦時海運管理令」「船員徴用令」によって民間の船と船員のすべては陸軍、海軍、船舶運営会のいづれかに国の管理のもとに戦時徴用された。

殆どの民間の商船は、丸腰(非武装)で満足の護衛もつかない海上輸送に従事し、敵機の攻撃や敵潜水艦の魚雷攻撃の絶好の標的となつて、海運・水産で働く6万余人の船員が犠牲となるとともに、商船や機帆船、漁船等約7200隻・880万総トンを超える船舶が失われた。

大阪商船の嘱託画家、大久保一郎画伯は、戦況の劣勢で社船が次々に

撃沈されていった昭和17年(1942)、社長から「失われていく社船を記録に残してほしい」と指示を受け、戦時統制下の厳しい状況の中、生還した船員たちから、沈没する船の様子、船員の遭難状況など戦場の生々しい証言を克明に聞きとって、忠実に記録画として密かに描き残した。

大久保画伯が描いた30号の記録画は、終戦直後のかん口令や復興の混乱の中で行方不明になっていたが、昭和57年(1982)に発見され、これを修復し37点の記録画を公開することとなり、昭和57年(1982)12月、東京日本橋の三越本店で第1回記録画展を開催した。

以来、北海道から沖縄まで、今回で31カ所・49回目、新潟市では3回目の開催となった。

450人が来場

多くの来場者を迎えるため、顕彰会のホームページでの周知と海事関係団体の広報紙、業界紙などに開催案内を掲載していただくとともに、各行政機関、海事関係団体、マスメディア、近隣の美術・博物館や公民館、図書館などにポスターの掲示、リーフレットの配布をお願いするなど、周知・広報活動を幅広く行った。

連日の猛暑にもかかわらず、ご遺族の方々をはじめ近隣の一般市民や遠方からも、450人が来場した。

大久保一郎画伯 (1889-1976)



大阪商船貨物船「ありぞな丸」宣伝用絵葉書の原画を前に、昭和31年(1956) 67歳

- 明治22年 大阪市富島町(現在の西区川口)で生まれる。
- 大正15年 大阪商船(現株商船三井)の嘱託画家に採用、初仕事に南米移民船「らぶらた丸」を描く。以後、同社の宣伝用絵葉書、航路案内、広報紙、ポスターの絵とデザインを担当する。
- 昭和17年 大阪商船、岡田永太郎社長の命により、同社の戦時徴用船最期の記録画を描き始め、終戦までに油彩30号約80点を制作する。
- 昭和51年 1月19日自宅にて死去、享年86歳。
- 昭和57年 旧大阪商船本社倉庫で大久保画伯の遺作37点が発見され、絵画修復家黒江光彦氏により修復。12月に東京日本橋・三越本店で第1回記録画展を開催。6日間の来場者は9000人。

記録画から受けた感動・感想

来場者のうち 150 人の方々からアンケートとともに記録画から受けた感想が寄せられた。

その中から、来場の動機と感想の一部を紹介します。

10代の驚き

■男性（新潟市）

友人、知人、家族から聞いて

たまたま知人の紹介があつて、この展示を見に来ましたがとても良い機会になりました。戦争については学校等で多くの人が学びますが、戦



時徴用船というテーマに焦点をあわせて戦争の一面を捉えることは、とても興味深く感じました。

■女性（新潟市）ポスター（会場）

説明が非常に分かりやすかったです。貴重な体験をありがとうございました。

■男性（新潟市）ポスター（会場）

戦時徴用船の最期について、くわしく資料ののつていて、状況がわかりやすくとても良かったです。

20代の学び

■男性（新潟市）

友人、知人、家族から聞いて

戦場の緊迫感が、油絵の質感を通して非常に鮮明に伝わってきた。戦争中は国際法も殆ど機能しないのだろうと感じた。

■女性（新潟県燕市）

ポスターを見て（新潟市美術館）

戦争を見た人間でないで、実際の悲惨さは外部からでしか知ることが出来ませんでした。今回の展示を見て改めて戦争を繰り返してはならないと強く感じました。

■女性（新潟市）

ポスターを見て（新潟市美術館）

自分の知らない時代のことが知られて良かった。迫力のあるリアルな絵を見て、戦争を繰り返さず、これからどう平和を保つかということに私たちが、また考えていく義務があると思った。また、こういった機会です、そういった意識を持つことが嬉しく思えた。

■女性（新潟市）ポスター（会場）

戦争の恐怖を絵画で感じたと同時に、本当に戦争はしてはいけないと強く思いました。

特に「安否を確認する乗組員」「激闘」の作品には、息をのむほどに引き込まれました。迫力がありました。自分が生まれる前の悲劇、出来事を今一度知っておく事が大切だと思

い、次の世代にもつなげる。若い人にも伝えることが日本を豊かにする一つの近道を感じました。興味深い作品展をありがとうございました。

■男性（新潟市）

ポスターを見て（新潟大学図書館）

絵画37点の内、船名等がわかるものはそれぞれにまとめられていた為、とても鑑賞を行いやすいと感じた。

現時点ではまだ修復の済んでない絵画もあるため、それらの修復が完

了したら再び開催してほしいと思う。

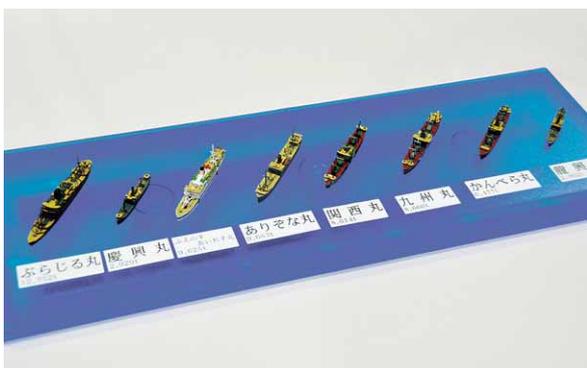
■女性（新潟市）ポスター（会場）

戦争といえば陸上戦のイメージが強かったので、斬新な感じがしました。

こんなにも多くの船が攻撃を受けて沈んでいたのかと、驚きを隠せませんでした。船の名前も興味深かったです。

■男性（新潟市）ポスター（会場）

私の祖父が海軍の飛行機の整備兵として、赤紙か志願なのか不明なままですが、その際に目撃をしたのか救助の手伝いをしたことを聞きました。その経験があり本展を見て、本当にありがとうございました。



ながすまさや 長主正也さん（東京都葛飾区）が作製した、記録画に描かれている船舶（15隻）の模型。（縮尺 1/2000）



■女性（新潟市）

友人、知人、家族から聞いて
放課後等、デイサービスの利用者
（子供）さんたちと鑑賞させて頂き
ました。
絵画から戦争の激しさが伝わり圧
倒されました。
戦争の詳細を知らない利用者さん
たちも、学びとなる良い機会となり
ました。

30代の印象

■男性（奈良県）

会場に来て

大阪商船の船員を描かれた絵が興
味深く、悲しかった。
今後の若い人々にも戦争の悲惨な
事を伝えて行かなければならない。

■女性（秋田県由利本荘市）

ポスターを見て（りゅーとぴあ）
「船の最期」というテーマに興味
を持ちぶらりと伺いましたが、迫力
ある作品を観て、昔、近所のおじい
ちゃんやおばあちゃんから聞いた、
その方々の「父の最期」の話を思い
出しました。皆、「父の顔を知らず
に育った」「海に沈んだので骨もな
い」と言っていました。その話が急
に血肉をつけた映像としてよみが
えった気持ちです。
ぜひ、秋田県でも開催してくださ
るようお願いいたします。

■女性（新潟市）

友人、知人、家族から聞いて
絵について解説して頂いてとても
良かったです。
デイサービスの子供たちも「疑問
を持つ」ということが出来ました。
なんで戦うの？ 沈没ってどうい
うこと？
昔の事〓本当にあった事、という
事に驚いていました。

40代の感想

■男性（不明）

ポスターを見て

NHKのドキュメンタリー番組
で、戦時徴用船と記録絵画のことを
知りましたが、新潟で巡回展が開催
されると知り伺いました。
戦争は軍人のみで行われるもので

なく、様々な人たちの犠牲が生じた
ことを改めて知ることが出来、あり
がとうございました。

日本は島国で海外からの物資の輸
入に頼っていることを考えると日頃
はあまり意識しませんが海運の重要
性を感じます。

■女性（新潟市・高校の先生）

チラシを見て（図書館）

平日にお邪魔したので、ゆっくり
と拝見することができました。ひと
とおり拝見した頃に、田中善治さん
よりお声がけ頂いて、詳しいお話を
聞きながら、再度絵を見てみると、
またより感情を揺さぶられました。

この絵画を描いた人、描かせた人、
残した人、それぞれ欠けては、今見
ることができないその瞬間を、色鮮
やかに残せたことに感謝します。

また、二度とこのようなことが起
りませんように祈ります。

生徒たちにも伝えたいと思いま
す。ありがとうございます。

■女性（新潟市）

新聞を見て

私の伯父も戦時中に民間商船の船
員として戦時徴用船に乗船し、攻撃
を受け現在も行方不明です。とうに
死亡扱いとなつていますが、遺骨の
代わりに箱に入った石が送られてき
たそうです。

伯父も最期にこの光景を見たかも
しれないと思うと切ないです。

■男性（新潟県長岡市）

りゅーとぴあのホームページを見て
「戦時徴用船」という言葉を見聞
きしたことのある人は多いだろう
が、「大久保一郎」の名を見聞きし
た人は少なく、その作品については
全くと言ってよいほど知られてな
いだろう。

本作品展の意義は多大であり、
もっともっと世の中に知ってほし
い、見てほしい。そして当時の戦況
や時代背景に思いを馳せて、さら
には戦争に手を染めない国であり続
けるためにも、国民一人一人が、何
ができるのかを考えて行動してほ
しい。

小中学生が作品を鑑賞し、戦争と
平和について考える機会を設けたい
ものである。



■男性（新潟市）

友人、知人、家族から聞いて

生々しい画が多く、非常に見ていて多くの船が沈んだという実態と事実を残してくれた。戦後ろくに船が残らなかった実状がよくわかりました。

世界3位の商船保有国を支えた人々が散った。散っていった事実、その状況が目には浮かぶ。

亡くなられていった方々の墓標、画の一枚一枚が墓標として見させていただきました。

■女性（新潟市）

友人、知人、家族から聞いて

民間の船が徴用されるといいう戦争に、こういう一面があった事を初めて知りました。

また、多くの方々が、船が犠牲になつて驚きました。

今後このような企画を継続していつていただきたいです。

■女性（新潟市）

ポスターを見て（りゅーとぴあ）

戦時中に物資が不足していたという事は知っていたが、これだけの輸送船が沈められたという事は知りませんでした。

沈められる船の絵を命がけで残してくれていた事がありがたいと思います。若い人たちにも興味を持ってもらいたい。



■女性（新潟市）

新聞を見て

商船が戦争へとかり出され、船の最期を見せていただきました。

大久保先生はどんな気持ちで描かれていたのだろうか。いたたまれなくなりました。

戦争の愚かさ…。

■女性（新潟市）

りゅーとぴあのホームページで

絵のパワーに圧倒されました。全体的な方々の尽かされるお気持ちが良いかわかりません。

遺作展を多くの方が見て、戦争について沢山考える。これに尽きると思えました。

今日、教職員組合の講演があり、ホームページを見て展示があると知り

り見ることができて良かったです。今後大変と思いますが、この絵のパワーを伝える為にもがんばってください。

■男性（新潟市）

りゅーとぴあのホームページで

まるで当時の状況が想像できる動きのある絵、その絵の中にある波しぶき、爆発、硝煙がそう感じさせてくれました。

このようなクオリティの高い作品が見られて良かったと思いました。ありがとうございました。

50代の想い

■女性（新潟市）

ポスターを見て（新潟市歴史博物館）

あらためて戦争の悲惨さを感じさせられました。

絵の説明も丁寧にしていただきとても良かったです。

軍人でない人達も、みんな戦争にかり出され大変な思いをしたんだなと思うと、今の私達は本当に幸せな世の中で感謝して、戦争のない日々をつくっていかねければならないと思えました。

■女性（新潟市）

ポスターを見て（りゅーとぴあ）

勝つ見込みのない中、船員たちから聞き取り、心を痛めながら描く絵

は、私らが考えられないような気持ちだったと思います。

戦後の人間の私たちは、このような機会であれば目にすることがないので大変ありがたい貴重な会でした。

残された記録画は、いつか見てもらいたいと願ひ、待っていたのだと思えました。今後も続けて頂きたいをお願いします。

■男性（新潟市）

ポスターを見て（県民会館）

これほど民間の船が攻撃され、沈められていることに驚きました。

こういった歴史、事実をもっと広く知らせるべきだと思います。





■女性（新潟市） 会場に来て

これほどたくさんの方々の微用船や船員の犠牲があった事を知らずにいました。このような絵による記録画がありましたし、よくぞ残してくださったことありがたいと思います。DVD（太平洋戦争シーレーン作戦）もとても良かったです。

もっとたくさんの方々に、この展示を見ていただきたいと思いました。平和ボケしている今の日本人はもっともっと過去の歴史について学ぶべきだと常日頃思います。今の日本があるのは、これらのことの犠牲の上に成り立っていることを実感し「賢者は歴史から学ぶ」であるべきです。

今日の展示、大変良い企画であると思います。

ありがとうございました。

■女性（新潟県上越市）会場に来て

すばらしい作品でした。話だけで、これほど臨場感のある絵を描いていることに驚きました。戦争は参加することを覚悟して、亡くなられた方のことばかり思いがちですが、職務を全うするために亡くなられた方々も多くいらしたのですね。

もっと、多くの人に観ていただきたい作品だと思います。

■男性 たまたま会場に来て

ずいぶん昔に、NHKのドキュメンタリー番組で大阪商船の記録絵画のことを知り、ずっと気になっていたのでもの多忙にまぎれそのまま展示会を訪ねることもなく過ごしていました。

本日、出張で新潟を訪れ、たまたま、りゅうとびあで直接目にする機会を得て、不思議な気持ちです。特に大野船長の姿は放映当時から強烈な印象を受け、絵の前に立ち胸が一杯になりました。

またとない機会を設けていただき本当にありがとうございました。

■女性（新潟県見附市）会場に来て

記録としても大切なものだと思いますが、絵画作品としても素晴らしいと思います。臨場感がすごい。

戦争は繰り返してはいけない。大久保さんの描く船の絵：普通の船の絵も見たくありません。

ポスター等を描かれていたようですので、絵ハガキがあったらほしいです。

■女性（新潟市）会場に来て

大変な知力と資力を費やしたであろう。

大きな船が（とても多く）、また、尊い人の命が、海に沈んだことは恐ろしいと思います。戦争は恐ろしく、愚かな行いだと改めて思いました。

■男性（新潟市）友人、知人、家族から聞いて

祖父が海軍に在籍し、海防艦でタシカンの護衛について話を良く聞きました。

戦記物やメディアでは、あまり取り上げられませんが、当時の様子を感じることができて良かったです。

■男性（新潟市）職場でのイベント連絡で

基本的に「伝聞描写」の絵であるが、当時の臨場感の高い作品であると考えます。

特に犠牲となった各船舶に乗り組んでいた船員等「人」の表現に感銘を受けた。

■女性（新潟県村上市）会場に来て
民間船が徴用されていたことを知りませんでした。

軍事物資を積む船であれば攻撃されてもやむを得ないと思いましたが、客船や病院船まで攻撃を受けているのはあまりにも理不尽で、とても許されるものではないと思います。

愚かな戦争が再び生じないように願っています。

■男性（新潟市）ポスターを見て（りゅうとびあ）

祖父母が満州引揚者で、敵潜水艦などから攻撃されやすいと、船の危険なことは良く聞いていました。悲惨な状況を知る、大変貴重な資料でした。





■男性（新潟市）

職場に届いた顕彰会会報を見て
 戦争の悲惨さを強く感じました。犠牲になった人々はさぞ辛い思いをしたと思います。

また、大久保さんも辛い思いで話を聞き絵を描いたと思います。

ウクライナでの戦争が今なお続いています。戦争は二度と起こしてはいけなく改めて感じました。

■男性（新潟市）

会場に来て

太平洋戦争はどうあっても失敗の戦争であったが、歴史を調べていくと、当時の指導者の甘さ、あえて言えば無能さに戦慄すら覚える。

海上輸送（シーレーン）がその最大なものであり、海に散っていった人々の痛ましきは計り知れないと思

う。

■女性（新潟市）

会場に来て

先の大戦でお亡くなりになられた方々に哀悼の意を表します。戦争を経験しない我々は、絶対に忘れてはならない。

徴用船、最期の記録をどのような思いで描かれたのか言葉が見つかりません。見せていただきありがとうございます。ありがとうございました。

60代の憤り

■男性（新潟市）

ポスターを見て（りゅーとぴあ）

不戦・非戦・平和の希求を国民の総意として訴えていくためにも、広く絵を見ていただきたいものです。

■女性（新潟県阿賀野市）

ポスターを見て（りゅーとぴあ）

戦時徴用船という単語を知ったのは「最貧前線」という演劇を見てからでした。それまでは国家総動員法で、ナベ、カマ、お寺の鐘などが供出されたりしたことは、当時のニュースや口伝で聞いていました。が、輸送船などでこんなにも多くの民間船が犠牲になっていたのは、初めて知りました。

このようなことが今後起きないよう、記録、広報されている活動に賛同いたします。

今回県内3回目、りゅーとぴあ2回目とのこと。巡回展示ありがとうございます。ありがとうございました。

■女性（新潟市）

NHKラジオ

今年8月の盆に東北の東北大間へ行った時、戦時中に大間沖で民間船が撃沈されたことを知った。戦時中に民間船が攻撃の対象となっていたとは思っていたが、これほど民間船が被害を受けていたことを知らなかった。

私の年代でも、これほど知らないことが多い。まして、もっと若い人たちは戦争があったことも良く判っていないのかもしれないと感じる。

なぜ、日本が戦争に突入していったのかな？ もっと知る必要があると痛感している。

■女性（新潟市）

図書館でチラシを見て

現実に見てない光景を、聞いただけでここまで描ける画家の画力に驚かされます。

民間船を徴用しなければならなかった時点で、すでに負け戦だったのに、なぜそれを認められなかったのか？ 当時の軍人の頭の中をのぞいてみたいものだ。

■男性（新潟市）

会場に来て

一部の人間がもたらした大罪。学びのない人間の罪。重い展示でした。

■男性（新潟市）

NHKラジオ

国家総動員法や政令のもと軍部に協力し貴重な人材、船舶を供出し多数の損失、戦死の船員の方々…。

その絵画を多数拝見させていただきましたが、戦死の船員の方々に思うと涙を禁じ得ませんでした。

今、我々が平和で繁栄を享受している日本に生活できているこの現実には犠牲となられた、皆さん方のおかげと考えています。

今後も平和の尊さを思うためにもこの取組を継続してください。

■男性（新潟市）

友人、知人、家族から聞いて

戦時徴用された幾多の方々の方に沈んだ虚しさ、無念に心が痛みます。





福島県から来場された、ご遺族の和田洋子さん
(左から二人目)

■男性（新潟市）

友人、知人、家族から聞いて

戦時中にこのような絵を描き、記録として保存していたことに驚きました。6万人以上の船員を失った戦争の凄惨さが伝わってきます。

日本が再び戦争への道を進まないよう心の奥に刻みたいと思います。戦争絶対反対！ 労働者・民衆を犠牲にするな！

■女性（新潟市）

会場に来て

戦争は全てを失う。

今、ウクライナで戦争が続いていて、日本も「台湾有事」で巻き込まれそう。

絵を見せていただき、戦争だけはしてはいけないと強く思った。

■女性（新潟市）

会場に来て

戦争を知らない世代がほとんどになっっている現在、油絵でこのように残っていた画家さんがいたことを初めて知りました。

戦争はしてはいけない。二度とこのような悲惨な状況になつてはいけないうと、心から思いました。すばらしいです。

■男性（新潟県燕市）

友人、知人、家族から聞いて

殉職率は、海軍より民間船員の方が多いと思っていたが、船員が43%に達する事実を知って、改めて気が引き締まる思いです。

無謀な戦には悲惨な結果しか残らない。民間人の多大なる被害は、対する国家の国力の比に相対する事が、2022年のロシア侵略にも表れている。

人類の歴史が戦争の歴史に重なるとしても、人間の最高の働き、創造と発展により、悲惨な戦を乗り越えていきたいものだ。

■男性（新潟市）

ポスター（生涯学習センター）

・戦時徴用船で亡くなった船員の皆様への敬意と感謝、そして心から鎮魂の意を捧げます。

・歴史的な遺産として保存と共に、より多くの人々に見ていただくべきものと思います。

・現在の日本のロジスティックスをリアルに構築すべきとの教訓でもあります。

■女性（新潟市）

会場に来て

北洋漁業を行っていた我が家の漁船も徴用され、帰ってこなかったと聞いておりました。

徴用船遭難の記録画を描かれていた方の存在を初めて知る事が出来、本当にありがとうございます。

うちの船もこのような最期であったかと思えば涙が。

70代の怒り

■女性（新潟市）

会場に来て

大阪商船という民間会社が戦時中の記録を残されたことは大変意義があると思えました。是非詳しい解説とともに後世に残してほしいと思いました。

肩章がすてきな、船長さん（田中善治さん）の解説、とても良かったです。ありがとうございます。

■男性（新潟市）

友人、知人、家族から聞いて

戦争の側面、余り注目されることのない、徴用船の乗組員として命をなくされた方々に、心から哀悼の意を捧げます。

再び日本が戦火にまみれ命を失うことのないよう祈ります。

■男性（新潟市）

友人、知人、家族から聞いて

祖父が帰還船の機関長として、昭和19年9月の最後の航海で、北千島近海で没したと亡き父より聞かされていたので関心がありました。

本日、絵を見て心が痛むばかりでした。



■女性（新潟市）

友人、知人、家族から聞いて

戦没船の最期のシーンがリアルに伝わってきました。写真とは全く異なる迫力があり、大久保一郎という画伯の存在と、こうして巡回していただく幸運をしみじみ思いました。

大変なご活動と思いますが、この事実を未来にお伝えください。



田中善治船長（右）の船友・木村庫作さん（左）と高校の北澤真知子先生（中央）

■男性（新潟市）

ポスターを見て（りゅーとぴあ）
少し前まで沖繩戦に関する書籍を読んでいた。

今回の絵画展を拝見して、戦争の惨たらしさ、戦争を判断した国の指導者は、敗戦後の状況をどのように認識したのか、詳しく知りたいと思いました。
ありがとうございました。

■女性（新潟市）

友人、知人、家族から聞いて
誰が戦争を始めたのか。偉い人は机の上の事、現場で痛い思いをして命を落とすのは、何も知らない国民、平民。煽られ、脅されて命を落とす。人の命を取るか取られるかの戦争

は、絶対にするべきではない。破壊でしかない。
大敗戦した日本はもつと平和外交をつくし平和のために世界を導いてほしい。夏休みの子供たちにも見てほしかった。

80代の嘆き

■男性（新潟市）

チラシを見て（新潟市美術館）

19年前、本会場へ見に来たが、最終日で片付け始めていたので、今回再度見ることが出来て良かった。
いわゆる戦争画とは違う、正反対の絵であるところに意義があり、大変貴重なものである。
若い人たちにこそ見てもらいたい作品群だと思う。

■男性（新潟県村上市）

友人、知人、家族から聞いて

私も元船乗りのハシクレ。昭和31年日鉄汽船に入社し、当時まだ戦争体験者の方々が沢山いて、「俺は何回攻撃を受けて、海上に投げ出された」とか、いろいろな体験談を聞かれました。なかには年月日はおろか時分まで克明にかたつてくれる御仁がいたりしたものです。

今回の記録画展を見て、さらには説明をしてくれた田中善治さんの話と相照らして何とも説明しようのない感銘と同時に戦争の虚しさをあら

ためて思い知らされたものです。

余談になりますが、小中学校当時の級友で父を船で亡くした者達が数名います。多分絵に描かれたような風に亡くなられたのではないかと。等々想像しております。それらに関係のある方々に知らせてあげようと思いますが、大半は亡くなっていきます。風化させてはいけないとあらためて感じております。

♪戦争が終わって、僕達は生まれたい♪ではすまされません。
身につまされる、エピソードの説明を受けて感動しました。ありがとうございました。

元船友の田中善治さんに逢えた事も忘れるものではありません。同時にレクチャーを受けた高校の先生とも談笑の機会を得た事も、大変意義深いものと感じ入っています。
ありがとうございました。

■男性（新潟市）

チラシを見て（万代市民会館）

大戦中の映像、写真で日本の輸送船が魚雷で沈むのを観てきました。
犠牲となった船員を思うと残念でならなかった。

戦況の好転が望めない状況を解かりながら、早く政治的妥協をもって終結できなかった国家、指導部に大きな責任がある。それに責任を感じて自ら責めをとった人物を私は知らない。日本の今後の教訓とすべきだ

と思います。DVD(太平洋戦争シーレン作戦)にあった半藤一利氏の提言を活かすことが求められる。
この企画が継続され国民に広く知られることが必要と思われれます。
関係の皆様にご敬意を表します。

■男性（新潟市）

チラシを見て（新潟市美術館）

親類に日本海秋田沖にて船長をしていた船が沈没して、船と共に亡くなった。戦時徴用船として活動しており戦後、勲章を受けたことを覚えている。

日本海での攻撃であり詳細を知る事はなかったが本展を見学したことにより、改めて平和が大事なことと



海の日清掃・献花式

横須賀海洋少年団 観音崎公園 戦没船員の碑



献花式、黙とうを捧げる

令和5年7月23日(日)、横須賀海洋少年団「海の日」行事として、恒例の神奈川県立観音崎公園「戦没船員の碑」清掃と献花式が行われた。連日の酷暑にもかかわらず、観音崎公園に集まったのは、横須賀海洋少年団、大和海洋少年団、ガールスカウト神奈川県第62団が参加。指導者、保護者、顕彰会の事務局が加わって、総勢32人で汗だくになりながら、「戦没船員の碑」周辺の草刈りなどの、清掃を行った。

猛烈な暑さの中、熱中症の危険がある。指導員から「適切な水分補給を行い、熱中症にはくれぐれも注意すること。また、清掃中危険なことや何か気が付いたことがあったら、積極的に周りへ声を掛け合い、情報を共有すること。」との指示のもとに、団員とガールスカウトの皆さんは、元気に清掃を開始した。例年のことだが、「戦没船員の碑」の周りは木々が生い茂り、特に「御製碑」「御歌碑」の周りや「お成りの碑」付近のスロープは落ち葉が多い



清掃の前に、あいさつする道家団長

つばい。落ち葉が湿って滑りやすいので、重点的に清掃していた。また、「お成りの碑」「昭和天皇皇后陛下下行幸啓記念碑」の周りの舗装されていないところは、海の日清掃の時期には雑草が勢いよく伸びている。子供たちの安全性を考慮し、指導者、保護者の皆さんが、草刈り用の鎌を使って、きれいに草刈りを行った。各々が、公園を使用する人、碑に祀られている人のことを考え、集中して清掃を行った。周りがすっかり清められ、「安らかにねむれ わが友よ 波静かなれ とこしえに」と刻まれた碑文石に全員で黙とうを捧げ、一人ずつ白菊を献花した。



ガールスカウト 神奈川県第62団



ガールスカウト神奈川県第62団の「海の日清掃・献花式」への参加は、今回で2回目。団員から、ガールスカウトに入団した動機や清掃活動について話を聞いた。

■上郷唯花さん (中学一年生)

ガールスカウトに入った理由はチラシをみて興味を持ったからです。今回のお掃除に参加は2回目だったけど、やっぱり楽しいし、みんなが協力してきれいにすることができて良かったです。

そして1回目の時は、この「戦没船員の碑」のことも知らなくて「なんだろうそれ」という感じだったけど、今思うと碑について知ることができて本当に良かったと思います。

■田中二虹さん (中学一年生)

ガールスカウトに入団したのは、友達に誘われてキャンプでの料理が楽しそうに興味があったから。

この清掃に参加して暑かったり大変だけど、意味のあることだし意外と楽しくて今回初めてだけど、もう一度参加したいなと思いました。

戦争で6万人も亡くなってしまったと知ってちょうど夏休みの宿題で平和について新聞を書く課題があったので、今回の清掃に参加したことや学んだことを書くように思います。

■五十嵐美波さん (中学一年生)

私がガールスカウトに入った理由はお母さんに誘われ興味を持ったからです。

今回2回目の掃除に参加させていただき、この場所に戦争などで亡くなってしまった6万人の方の慰霊の碑があることを知ることができました。

暑くて大変なこともあったけどきれいにすることができて良かったです。ぜひもう一度参加したいです。

ご協力 ありがとうございました

横須賀海洋少年団の「海の日」清掃活動に参加した団員の皆さんに、感謝の記念品を今回もたくさんご提供いただきました。子供たちは大喜びで「ありがとうございます」と声高らかにお礼を述べていました。ご提供いただいた会社、海事団体は次のとおりです。

- 日本郵船・商船三井・川崎汽船・日本船主協会・大日本水産会・日本内航海運組合総連合会・日本海事広報協会・日本水先人会連合会・海技振興センター・海技教育機構・日本水路協会・日本倉庫協会・海技教育財団・全日本海員組合・全日本海員福祉センター・日本船員厚生協会 (順不同)



殉職船員 遺族援護について

当会では外航船・内航船・旅客船・港湾船等の船員として就労中、海難など職務上の事故により死亡した船員のお子さんに対し給付金を支給しています。

詳細については、当会事務局までお問い合わせください。
(電話03-3234-0662)

ご遺族からのお便り

■織田幸恵さん (広島県)

お世話になっております。昨日、有瑠は16歳の誕生日を迎えました。当時7歳だったので、元気に成長してくれたこと、まわりの方にたくさんサポートしていただいたことに感謝した日となりました。優しい子に育ってくれて、うれしいです。

■佐藤亜希さん (青森県)

急に寒くなってきましたね。春輝ももう来年は中学生になります。パパに似て背も大きくなり今では私が背伸びしても届かなくなりました。11月18日はパパの誕生日です。子供たちとお墓参りに行きます。

いつもありがとうございます。

皆様のご厚情に感謝申し上げます

令和5年7月1日以降、令和5年10月31日までの間に、次の方々に新たに賛助会員として加入いただきました。

また、次の皆様からご寄付をいただきました。厚く御礼申し上げます。

当会は基本財産の利息収入、寄付金、海運会社・水産会社および関係団体等の賛助会費・補助金ならびにご遺族や関係者の賛助会費・協賛会費により運営されております。

会費は3種類あり、賛助会費法人 10万円・賛助会費個人 10万円・協賛会費 10万円・3千円で、それぞれ年10万円からお申込みいただけます。

平成23年4月1日に「公益財団法人」に認定され特定公益財団法人に該当し、平成23年10月27日に「税額控除対象法人」の証明を受けました。

これにより賛助会費・協賛会費を含む当会に対する寄付は税制上の優遇措置が認められることになり、確定申告を行うことにより、「所得控除」もしくは「税額控除」が受けられます。

なお、当会は消費税の免税事業者であるため、インボイス(資格請求書)発行事業者ではありません。

新たな賛助会員

(順不同)

島 一角様 (神奈川県横須賀市)
保坂 均様 (茨城県筑西市)

知られざる民間船舶の悲劇

戦時徴用船遭難の記録画展

寄付金

(順不同)

新 利孝様 (新潟県上越市)
樋口 成美様 (山梨県笛吹市)
奥平 安子様 (東京都中央区)
岡田 泰雄様 (新潟県新潟市)

終戦記念口供花料

一般寄付金

多胡 明美様 (東京都小金井市)
井上 修様 (東京都練馬区)

碓井由紀子様 (新潟県村上市)
才野 正彦様 (千葉県千葉市)
寺尾 篤子様 (新潟県新潟市)

星野 晋様 (新潟県新潟市)
星 恵子様 (新潟県阿賀野市)

8/17~8/26

入場無料

所沢市で開催

所沢市民文化センター ミュース

第50回

知られざる民間船舶の悲劇

大久保一郎画伯遺作

戦時徴用船遭難の記録画展

会期

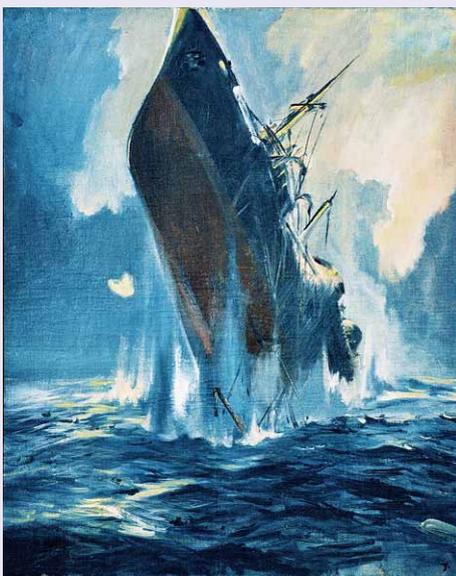
- 令和6年8月17日(土)から8月26日(日)まで
- 開館時間は、10時00分から18時00分まで
- 初日の8月17日(土)は、13時00分開場
- 最終日の8月26日(日)は、16時00分に閉場

会場

所沢市民文化センター ミュース
ザ・スクエア (展示室)
埼玉県所沢市並木1丁目9番地の1

主催

公益財団法人 日本殉職船員顕彰会



魚雷攻撃により棒立ちとなって沈没する「ぶら志る丸」